

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【公開番号】特開2013-85485(P2013-85485A)

【公開日】平成25年5月13日(2013.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-023

【出願番号】特願2011-226233(P2011-226233)

【国際特許分類】

A 01K 67/027 (2006.01)

G 01N 33/15 (2006.01)

G 01N 33/50 (2006.01)

【F I】

A 01K 67/027

G 01N 33/15 Z

G 01N 33/50 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

ヒト小型肝細胞は、従来公知の手法に基づいて調製することができ、すなわち、遠心分離を用いた方法、エルトリエーター等の細胞分画装置を用いた方法、ヒト小型肝細胞を特異的に認識するモノクローナル抗体を用いた免疫学的手法などを利用することができる(特開平10-179148号公報、特開平8-112092号公報)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

実施例5：免疫染色法による肝臓におけるマウスCyp3a発現解析

上記実施例2で作製したcyp3a(KO/KO)/uPA(+/+)/SCID(+/+)キメラマウス[N2F1]およびPXBマウスの外側左葉の凍結切片を作製し、ヒト特異的サイトケラチン8/18(hCK8/18)抗体(PROGEN)およびマウスCyp3a抗体(SANTA CRUZ)を用いて、肝臓の免疫染色を行った。

【手続補正3】

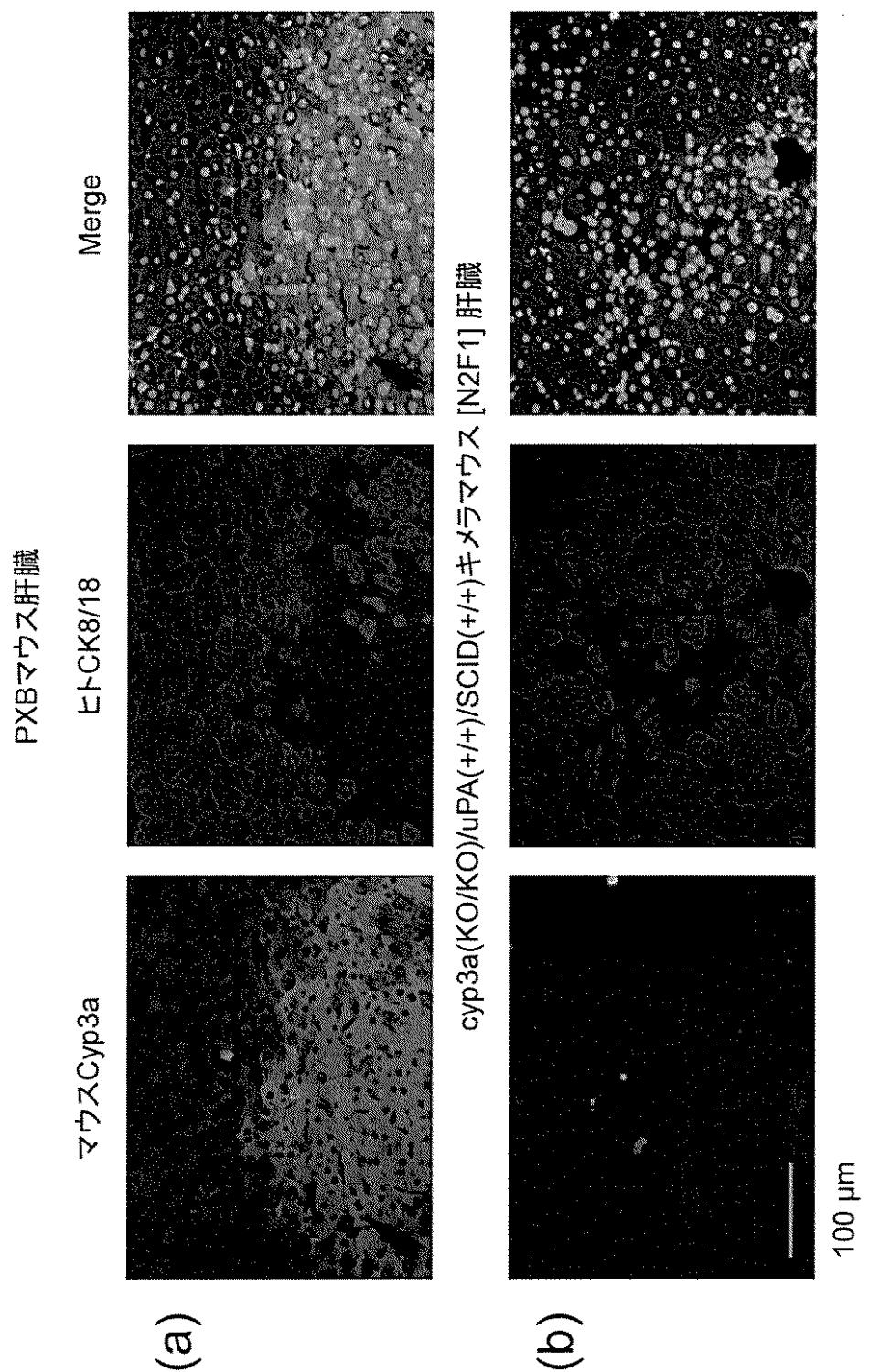
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図6】

